

加藤眞悟
独立25周年記念事業

謡跡めぐりのご案内

みちのくの恋と鬼

～しのぶもじずり～ ご案内役 加藤眞悟

遊行柳 殺生石 采女 安達原をたずねて

日 程：平成 28 年 5 月 21 日(土)、22 日(日) 1泊2日の旅

集合時間：8時50分 (厳守・バスが長く停車できません)

集合場所：JR 大宮駅 埼玉りそな銀行大宮支店前(県道 214 号沿い)

(JR 大宮駅東口出口から中央デパート方面へ徒歩 4分)

参加費：30,000 円前後の予定 (バス代、傷害保険料、食事代、宿泊料代含)

行 程：

(旅行発注先：行田観光社)

5月21日(土) 9時 大宮駅発 = 11時頃 那須の与一の里、「殺生石」見学 =
(昼食) = 15時30分頃 「遊行柳」見学 = 夕方頃 宿泊施設着 (采女温泉泊)

5月22日(日) 9時 宿泊施設出発 采女公園付近見学 (散策) = 10時 バスにて
出発 = 11時頃 安達原 観世寺 = 11時30分頃 (昼食) = バスにて出発
13時30分頃 福島 安洞院 = 14時頃 安洞院出発 = 19時頃 大宮着

*平塚、横浜方面からお越しの方 (R 東海道本線 籠原行きが便利です)
大磯 7時00分 → 平塚 7時04分 → 横浜 7時42分 → 大宮駅 8時44分頃

申し込み先 → 下の申込み書 空欄に必要事項を記載の上、FAX をお願い致します。
折り返し、振込先など詳細をお知らせ致します。

謡跡めぐり担当幹事 石川幹夫 電話&FAX (0463) 34-3775

パソコンメールアドレス utaimiki@bc4.so-net.ne.jp

氏名	
年齢	
住所	
連絡先	

*保険加入の関係上、氏名、年齢、住所、連絡先をお知らせ下さい
申し込み締め切り 4月末日 *申込み後のキャンセルはできません。

代わりに参加の方をお探しいただき速やかにご連絡下さい。

*個人情報の取り扱いには十分配慮いたします。

*交通事情等により旅行行程が変更になる場合があります。

*ご家族・ご友人のご参加も歓迎いたします。

主催 眞謡会・明之会友の会

遊行柳

西行は、花、とりわけ桜を愛したことから、室町の初め、世阿弥によって庵にある老木の桜を題材に謡曲「西行桜」が作られたが、室町後期になって、観世信光（1435～1516）は、西行が那須・芦野で詠んだ「道のべに清水流るゝ柳かげしばしとてこそ立ちどまりつれ」上の歌の柳を主題にして、謡曲「遊行柳」を創作した。これにより芦野の柳は「遊行柳」として広く世に知られるところとなり、歌枕の地となった。謡曲「遊行柳」では、遊行上人（一遍上人）が奥州行脚の際に、老人の姿をした柳の精に出会って西行が詠んだ「朽木の柳」へ案内され、老人は、上人に柳にまつわる故事をつらつら語り報謝の舞を見せて姿を消す、といった筋立てになっている。（bashoan.com 引用）

殺生石

那須湯本温泉の源泉となっている「鹿の湯」の西方に山肌がむき出しで草木の絶えた谷あいがあり、この奥に、かの殺生石が鎮座している。

殺生石の周辺からは硫化水素や亜硫酸ガス、砒素などの有毒ガスが噴出し、昔ほどではないと言われるが、今でも異臭のするガスが吹き出している。古人はこの場所で人や動物が死亡することを石に宿る霊の仕業と考え、石を特定して「殺生石」と名付けた。さらには、その石に全身を金色の毛で覆い9本の尾をもつという「白面金毛九尾の狐」の物語を添加したことにより、殺生石は恐怖の石として世に広く伝播するところとなった。

（Wikipedia より引用）

安達原

黒塚（くろづか）は、福島県二本松市（元・安達郡大平村）にある鬼婆の墓、及びその鬼婆の伝説。安達ヶ原（阿武隈川東岸の称。安達太良山東麓とも）に棲み、人を喰らっていたという「安達ヶ原の鬼婆（あだちがはらのおにばば）」として伝えられている。黒塚の名は正確にはこの鬼婆を葬った塚の名を指すが、現在では鬼婆自身をも指すようになっている^[2]。能の『黒塚』も、長唄・歌舞伎舞踊の『安達ヶ原』、歌舞伎・浄瑠璃の『奥州安達原』もこの黒塚の鬼婆伝説に基く。（Wikipedia より引用）

采女クセ に謡われる物語の場所

葛城の王。勅に従い陸奥の。忍ぶもぢずり誰も皆。こともおろそかなりとて設けなどしたりけれど。なほしもなどやらん王の心解けざりしに。采女なりける女の土器取りし言の葉の露の情に心解け。叡感以て甚し。されば浅香山。影さへ見ゆる山の井の。浅くは人を思ふかの。心花開け。風もをさまり雲静かに。安全をなすとかや

（観世流謡本 采女より引用）